

港湾振興便り



2023. 4

第191号

*:

目次

*:

1 ポートエッセイ — 新年度を迎えて —
～ 日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 中原 八一 ～

2 トピック

- 室蘭港CNP形成計画策定について
(室蘭市 港湾部 港湾政策課)
- 第2回苫小牧港カーボンニュートラルポート検討会の開催
(苫小牧港管理組合)
- 「千葉港海岸船橋地区 直轄海岸事業着工式典」を開催
(関東地方整備局 千葉港湾事務所)
- 「金沢みなとのてらんかい」が開催されました
(北陸地方整備局 金沢港湾・空港整備事務所)
- 佐渡島「命のみなとネットワーク」推進協議会を開催
(北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所)
- 名古屋港への外航クルーズ船の入港がおよそ3年8か月ぶりに再開しました！
(名古屋港管理組合 港湾部誘致推進課)
- 中川運河と名古屋港が映画の舞台に♪クルーズ名古屋のショートフィルム「五時のメロディ」と、
フォトブック「クルーズ名古屋ものがたり」が完成しました！
(名古屋市 住宅都市局 都市整備部 名港開発振興課 水上交通担当)
- 「ほっといたらあかんやん！第19回大阪湾フォーラム」を開催しました
(近畿地方整備局 港湾空港部)
- 唐津港へ3年半ぶりに国際クルーズ船「ル・ソリアル」寄港
(九州地方整備局 唐津港湾事務所)
- 国際クルーズ船「ウエステルダム号」が石垣港、那覇港へ寄港しました！
(沖縄総合事務局)

3 お知らせ

◇イベント名：青柏祭（石川県七尾市 5/3～5/5）

:~

1 ポートエッセイ — 新年度を迎えて —

～ 日本港湾振興団体連合会会長（新潟市長） 中原 八一 ～

::*:*:*:*:*:*:*~

ここ数年間の日本のスポーツ界における世界での活躍は、団体や個人種目を問わず目を見張るものがあり、コロナ禍で沈んだ気持ちを大いに盛り上げてくれている。

特に、昨年ワールドサッカーや先月開催されたWBCは、日本中を盛り上げ私たちに元気にしてくれた。

今秋に開催される「ワールドカップラグビー フランス大会」も前回大会同様に「俄かファン」という言葉がでるくらいの日本チームの活躍と国内の盛り上がりを期待したい。

コロナ禍で行われた自粛や規制が緩和されたなかで、新年度を迎えて、ゴールデンウィーク明けには、新型コロナの感染症分類が2類から5類に引き下げられるとしている。

このことにより我が国の社会経済活動において各方面で新たな取り組みが進むこととともに日本の社会経済活動が回復と拡大に向けるスタートの年度としたい。

規制緩和が進んだことで、人の動きも活発化してきており、訪日外国人数も昨年の規制緩和以降増加を続けており、既に今年は昨年の訪日外国人数を超えている。

これと合わせ、国際クルーズ船の寄港再開以降、国内の港湾への寄港スケジュールが続々と入ってきている。

私のところの新潟港にもコロナ前の寄港実績を超える寄港の連絡が入ってきている。

また、欧米系の日本を一周するクルーズ船からも既に寄港をさせていただいており、寄港地に選定して頂いたことは大変ありがたい。

このように、日本一周する国際クルーズ客船が頻繁に訪れることは、これまでなかったことだが、一回のクルーズで日本各地の食や文化、景観などを堪能していただく素晴らしい企画であり、これを機に訪れた外国の方々に我が国の食や文化などを世界に発信していただき、私たちもおもてなしの対応と情報発信につとめ、多くの訪日外国人から喜んでいただけるような地域づくりに取り組むことにより、港湾から日本の賑わいを発信していきたい。

*:

2 トピック

*:

●室蘭港CNP形成計画策定について

(室蘭市 港湾部 港湾政策課)

令和5年2月24日(金)、室ガス文化センターにおいて、第3回室蘭港カーボンニュートラルポート(CNP)協議会をWEB併用で開催し、室蘭港における温室効果ガス削減目標・削減計画を盛り込んだCNP形成計画案が承認され、3月31日(金)には同計画を策定し公表しました。

室蘭港が明治期から石炭・石油等のエネルギーや鉄鋼業の原燃料・製品の輸送を支えてきた歴史を継承するとともに、高い静穏性や維持浚渫が不要な広く深い水域を有する室蘭港のポテンシャルを活かし、新たに洋上風力や水素関連産業の集積を通じて地域経済の活性化と我が国のCNの達成に貢献してまいります。

また、室蘭港のCNP形成に向けた方針として、(1)立地・利用企業のCN化、(2)洋上風力産業拠点の形成、(3)水素等の地産地消及び水素ハブ拠点の形成、(4)ブルーカーボン生態系の創出、以上4つの方針を掲げ、CNPの形成に取り組んでまいります。



第3回室蘭港カーボンニュートラルポート協議会開催の様子

○室蘭港カーボンニュートラルポート形成計画

<https://www.city.muroran.lg.jp/main/org8120/cnp.html>

● 苫小牧港CNP形成計画の策定！

(苫小牧港管理組合)

令和4年1月に「苫小牧港カーボンニュートラルポート検討会」を立ち上げ、港湾に関係する団体や事業者、行政機関等とともに、苫小牧港におけるカーボンニュートラルの実現に向けた検討を行ってきました。令和5年3月まで計5回の検討会における議論やパブリックコメント等を経て、この度「苫小牧港カーボンニュートラルポート形成計画」を策定しました。

本計画では、温室効果ガス削減目標(2030年度に2013年度比48%削減、2050年にカーボンニュートラル)や、苫小牧港の目指す将来像(①北海道・北日本への次世代エネルギーの供給拠点 ②わが国の次世代のエネルギー備蓄拠点 ③カーボンリサイクルコンビナートの形成)、CNP及び将来像実現のための方策等を明記しており、カーボンニュートラルポート形成を推進し、環境価値で世界から選ばれる港湾を目指すこととしております。

なお令和5年度は、港湾法改正に伴って「苫小牧港脱炭素化推進協議会(仮称)」を立ち上げ、本計画をベースに「苫小牧港脱炭素化推進計画」の策定を目指してまいります。



第5回苫小牧港カーボンニュートラルポート検討会の様子

○ 苫小牧港カーボンニュートラルポート形成計画の策定：

http://www.jptmk.com/001news/news/post_2343/index.html

●「千葉港海岸船橋地区 直轄海岸事業着工式典」を開催

(関東地方整備局 千葉港湾事務所)

関東地方整備局及び千葉県は、3月4日(土)船橋市浜町公民館において、「千葉港海岸船橋地区直轄海岸事業着工式典」を開催しました。

千葉港海岸船橋地区は、中核市として日本最大の人口(64.5万人)を有する船橋市の中心部を背後に控え、ゼロメートル地帯に市役所や消防署等の地域中枢機能が集積しています。また、鉄道・幹線道路等の重要交通網や住宅、産業・商業施設も密集しています。

本事業は、現状、高潮・波浪や津波等が発生した場合、天端高や耐震性の不足、既設堤防の老朽化により大規模な浸水が発生する可能性がある同地区の機能確保のため、護岸・胸壁・陸閘の改良及び排水機場・水門の整備を千葉県と協力して進めるものです。これにより、資産被害や背後住民の不安の軽減や人的被害の防止、行政機能や交通機能、経済活動の維持に貢献します。

式典には、地元選出の国会議員や関係者50人ほどが集まり、豊田俊郎国土交通副大臣及び熊谷俊人千葉県知事の挨拶に続き、角田秀穂衆議院議員、松戸徹船橋市長そして地元協議会の皆様より祝辞や期待のお言葉をいただきました。また、船橋市の伝統芸能である「ばか面おどり」が披露され、最後にテープカットを行い事業の着工を祝いました。



＜挨拶＞ 豊田俊郎国土交通副大臣



＜挨拶＞ 熊谷俊人千葉県知事



＜祝辞＞ 角田秀穂衆議院議員



＜祝辞＞ 松戸徹船橋市長



テープカットの様子



出席者全員で写真撮影

●「金沢みなとのてらんかい」が開催されました

(北陸地方整備局 金沢港湾・空港整備事務所)

令和5年3月11日(土)・12日(日)、金沢港クルーズターミナルにおいて金沢みなと懇話会の主催による「金沢みなとのてらんかい」が開催されました。

このてらんかいは、冬季に金沢港周辺の賑わい創出を図ることを目的としており、令和3年から今回で3回目の開催となります。

また、「あなたが伝えたい金沢港周辺の街の魅力」をテーマに地元小学生から応募のあったスケッチ約800点の応募作品の展示と入賞者の表彰式を行いました。そのほか、地元の小学生や団体による研究発表会、みなとクイズ大会等の多彩なステージイベントも開催されました。

当事務所からは、事業概要説明やみなとオアシスの紹介等を行い、さらには子供たちにVRを活用した港湾の役割や事業の紹介を行いました。



スケッチ作品展示の様子



表彰式の様



みなとオアシスの展示ブース



VR体験コーナー

●佐渡島「命のみなとネットワーク」推進協議会を開催

(北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所)

令和5年3月27日(月)、新潟県佐渡市「あいぼーと佐渡」にて佐渡島「命のみなとネットワーク」推進協議会を開催しました。国土交通省港湾局では災害時に、“みなと”の機能を最大限活用した、災害対応のための物流・人流ネットワークを「命のみなとネットワーク」として、推進していくこととしています。

本協議会は、北陸地方整備局、新潟県、佐渡市、新潟市、聖籠町、その他生活物資の供給を担う民間企業などで構成され、日本最大の離島である佐渡島が災害を受けた場合に新潟県内の港からの支援を受けることを想定し、離島と本土間で緊急物資などをスムーズに海上輸送する方策を検討しました。

協議会の冒頭では佐渡市長より、「いつ起きるかわからない災害に対して“みなと”を活用し、市民の安全・安心のために防災体制をどう作っていくか、知恵を絞り、災害に備えたい。」、聖籠町長からは「海上からの物資輸送など災害時における新潟港(東港区)の活用について、本協議会での議論を参考にしたい。」と挨拶がありました。

今後の取り組みとして、本年秋頃に新潟港、両津港ほか、佐渡島内避難所などで船舶・港を活用した緊急物資輸送の実証訓練を実施する予定です。



協議会の様子



佐渡市長の挨拶

●名古屋港への外航クルーズ船の入港がおよそ3年8か月ぶりに再開しました！

(名古屋港管理組合 港営部誘致推進課)

新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年から名古屋港への入港がなかった外航クルーズ船の入港が、令和5年3月から再開しました。

3月5日(日)の「アマデア」を皮切りに、これまでに「セブンシーズ エクスプローラー」、「ノーティカ」、「ボレアリス」が入港しました。

入港時には、和太鼓や篠笛による演奏、ポッカレモン消防音楽隊による演奏や夏に名古屋を舞台に繰り広げるにっぽんど真ん中祭りで披露された「どまつり演舞」を実施するなど、歓迎行事を実施しました。

引き続き、官民で構成する名古屋港外港クルーズ船誘致促進会議を通じ、関係団体と連携を図りながらクルーズ船誘致に向けた取組を進めていきます。



「アマデア」歓迎の様子



「セブンシーズ エクスプローラー」歓迎の様子

- 中川運河と名古屋港が映画の舞台に♪クルーズ名古屋のショートフィルム「五時のメロディ」と、フォトブック「クルーズ名古屋ものがたり」が完成しました！

(名古屋市 住宅都市局 都市整備部 名港開発振興課 水上交通担当)

2月22日(水)より、名古屋市が運航しているクルーズ名古屋を舞台に親子愛を描いた短編映画「五時のメロディ」を、公式YouTubeチャンネルにて公開しています。

また3月9日(木)には、ミニ写真集「クルーズ名古屋ものがたり」を発行し、WEB版も無料公開しています。クルーズ名古屋からしか見るのでできない水上からの新たな名古屋の魅力を再発見できる、ストーリー仕立ての構成となっています。

平成24年度に策定した「中川運河再生計画」の一環として運航開始したクルーズ名古屋は、令和4年10月で5周年を迎えました。今後も、中川運河への関心を高め、運河とみなとエリア全体の魅力向上を目指し、船内イベントや周辺施設との連携とともに広報・PRにも力を入れていきます。



「五時のメロディ」ポスター画像

いつもの街なのに、知らなかった景色がそこに。



水上バス「クルーズ名古屋」ストーリー仕立てのフォトブック公開中

「クルーズ名古屋ものがたり」PR画像

- 「五時のメロディ」(クルーズ名古屋公式YouTubeチャンネル)
<https://youtu.be/iT-GVi3YLuc>
- 「クルーズ名古屋ものがたり」WEB版フォトブック
<https://epub-tw.com/58901/>

●「ほっといたらあかんやん！第19回大阪湾フォーラム」を開催しました

(近畿地方整備局 港湾空港部)

令和5年3月19日(日)、大阪湾沿岸域で活動する個人や団体でつくる「大阪湾見守りネット(代表:中西敬氏)」らと連携して、第19回大阪湾フォーラムを「せんなん里海公園(大阪府泉南郡岬町)」で開催しました。

(主催:大阪湾見守りネット、大阪湾環境保全協議会、神戸港湾空港技術調査事務所)

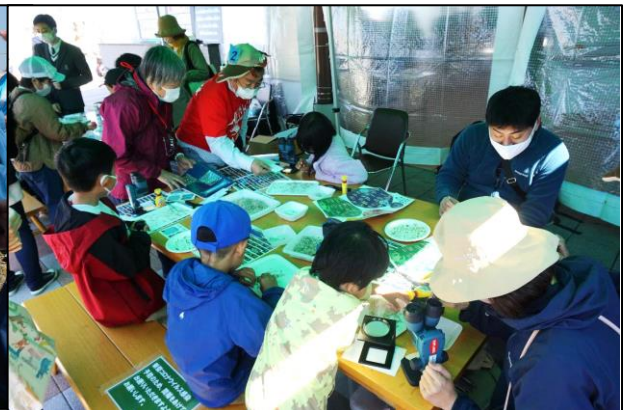
同時開催の「第10回せんなん里海さくらフェス」によって、賑やかな会場の中で、「大阪湾見守りネット」のメンバーが中心となって、ビーチコーミング、ワークショップ、パネル展示、ディスカッションを行いました。

ディスカッションでは、「ゴミと生き物」をテーマとして、大阪湾とその集水域でゴミ拾い・清掃活動を行っている団体や高校生等とリレートーク・意見交換を行いました。それぞれの活動などについて情報共有が図られ、参加者同士の繋がりが深まる機会となりました。

港湾空港部からは、海洋環境整備事業や「大阪湾再生行動計画(大阪湾再生推進会議)」の取り組み紹介を行いました。



ビーチコーミングの様子



ワークショップ(ちりめんモンスター)の様子



高校生による取組紹介と他校生と意見交換の様子



ディスカッションの様子

●唐津港へ3年半ぶりに国際クルーズ船「ル・ソリアル」寄港

(九州地方整備局 唐津港湾事務所)

令和5年4月4日(火)、新型コロナウイルス感染症の影響により、中断していた佐賀県内への外国クルーズ船の受け入れがおよそ3年半ぶりに再開し、フランスの船会社が運行する国際クルーズ船「ル・ソリアル」が乗客176人を乗せ、唐津港東港に寄港しました！

乗客達は唐津城や有田町の窯元などの観光地を訪れました。

今年、唐津港では今回も含め計12回の寄港が予定されています。



客船「ル・ソリアル」の入港

●国際クルーズ船「ウエステルダム号」が石垣港、那覇港へ寄港しました！

(沖縄総合事務局)

国際クルーズ船「ウエステルダム」(総トン数82,862t)(乗客1,908名、乗員784名)が令和5年3月8日(水)石垣港に、翌3月9日(木)那覇港に寄港しました。

海外から沖縄県への国際クルーズ船の寄港は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年2月を最後に途絶えており、約3年ぶりの再開となりました。

石垣港では、再開された国際クルーズ船を沖縄県内で最初に受け入れることとなり、「ウエステルダム」の寄港にあわせて歓迎セレモニーが開催されました。那覇港では3年ぶりの国際クルーズ船を一目見ようと多くの見物客が訪れ、那覇港クルーズターミナルはお祭りの様な賑わいを見せておりました。



石垣港での歓迎セレモニー



石垣港に寄港したウエステルダム



那覇港に寄港したウエステルダム

